

# あびこ型「地産地消」推進協議会

会報 第56号 2021年7月15日発行

## ～野菜の漢字クイズ～

答は、本ページの下にあります

次の漢字は、野菜を表しています。さて、なんと読むでしょう。

- ① 茄子                      ② 西瓜                      ③ 空心菜  
④ 蕃茄                      ⑤ 玉蜀黍                      ⑥ 胡瓜

<ヒント> 次の写真のどれかです。



イ



ロ



ハ



ニ



ホ



ヘ

<答> ①: ハなす、②: ニスイカ、③: ヘくうしんさい、④: ロトマト、⑤: ホトウモロコシ、⑥: イきゅうり

★本会報はカラーでご覧になれます。

当協議会ホームページの <https://abiko-chisan.com/newsletter>

または QR コードから、会報「第56号」をお読みください。



# 1. 第18回定時総会(報告)

<会長挨拶>

会長 齊藤 徳剛 2021年6月吉日

去る5月15日に催された当協議会第18回定期総会は2期連続での新型コロナウイルス感染の影響から書面議決による総会となりました。不測の事態とは言いながら皆様に会えない残念な状況でした。そのような総会におきまして会長に選任していただきました齊藤徳剛です。前年度までの活動経過を踏まえながら、上記総会で承認を得ました「令和3年度活動計画」に即して、当協議会の活動全般をしっかりと推進して参りたいと思います。但し、新たな変異株などに対する警戒が喚起されている段階であり、イベントなどは細心の感染対策を考慮したものにしなければなりません。担当する各部会においては様々工夫していくこととなり負担は計り知れません。皆様の協力無くして計画の推進はできません、知恵を出し合い作り上げることが重要です。前期と同様のお願いになりますが、ボランティア活動は自発的であることが前提で継続性がなければ意義が薄くなります。まずはこれまで築いてきた各事業分野での諸活動を従前にも増して着実に実行していくのが肝要と考えています。そのうえで、原点を忘れずに会うことの重要性を認識しながら活動を行っていきたいと思います。



今後とも、会員並びに役員の皆様、市役所をはじめ多くの関係者各位と共に、当協議会の継続と社会価値向上を目指したいと思いますので、どうぞご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

<第18回定時総会報告>

総務部会長 小松 信彦

当協議会の第18回定時総会は昨年同様、「新型コロナウイルス」の感染拡大防止などの観点から、集会によらない書面での議決として、会員の皆さまから「書面表決書」を提出いただく方式といたしました。会員の皆さまのご協力により、会員数164名のうち、1/3(55名)以上の提出・返信(95票)をいただいて総会が成立し、議案の書面議決は第1号議案～第5号議案いずれも過半数の賛成により、すべての議案が可決され去る5月24日に会員の皆さまに報告いたしました。あらためて議案可決に厚くお礼申し上げます。これにより、令和3年度の協議会新予算、新役員が成立され新年度が開始されました。しかしながら、引き続き、「新型コロナウイルス」のまん延防止等重点措置の対象地域に指定されているため(2021年6月現在)、主だった協議会の行事・イベントは延期・中止を余儀なくされております。そのような事情の中、学校給食支援活動、援農ボランティア派遣業務は農家会員の皆さま、学校給食支援関係者、援農ボランティアの皆さまのチカラ強いご支援の下、毎月活動を継続しております。また、農産物直売所あびこんも水の館へ移転して4年目となり、あびこん体験交流など市民の皆さまとの新企画を立ち上げており、当協議会としてもこれを支援してまいります。近時、高齢者中心ではありますが、ワクチン接種も徐々に進んできております。一日も早く安全・安心な環境で会員の皆さまや市民との交流が再開できることを期待しております。

書面表決書			
私はあびこん「地産地消」推進協議会 第18回総会 (書面議決)について、次のとおり議決に関する権限 を行使します。(各議案について「賛成」「反対」のどちらかに○ をつけてください)			
記			
第1号議案	令和2年度活動報告について	賛成	反対
第2号議案	令和2年度収支決算報告について	賛成	反対
第3号議案	令和3年度活動計画について	賛成	反対
第4号議案	令和3年度収支予算案について	賛成	反対
第5号議案	令和3年度新役員の選出について	賛成	反対
【意見】 (ご意見がありましたらお書きください)			
令和3年 月 日			
住所			
氏名			

## 2. 役員・実行委員一覧表

役職名	氏名	実行委員等		
会長	齊藤 徳剛			
副会長	若王子 範文			
副会長	大炊 三枝子			
副会長	秋田 芳博	農政課 地産地消担当		
総務担当	西田 集	課長補佐	主査長	主任主事
会計	西田 集	斎藤 寿義	景山 雄一郎	伊藤 臣人
工コ農産物普及推進 部会長	空席	今村 直美	井出 史郎	和田 洋
		栗原 裕子	日暮 俊一	
食育交流部会長	須藤 一宏	香取 典男	八澤 静江	
		顧問 白澤 幸雄	サポーター委員 相馬 英里	
援農ボランティア 部会長	井出 史郎	石田 善久	吉田 和子	
		(農家委員) 古川 鉄夫	(農家委員) 松下 辰巳	(農家委員) 原田 賢宗
学校給食支援部会長	中村 公一	梅田 昭	関口 敏雄	山崎 甫
		小林 孝夫	梶縄 茂雄	
	学校給食 コーディネーター	折越 揚身	福本 定一(非常勤)	
広報部会長	若王子 範文	日暮 俊一	武井 伸勝	
総務部会長	小松 信彦	齊藤 徳剛	吉田 和子	
会計監事	小林 明弘			
会計監事	仲原 千津子			
事務局	小松 信彦			
	吉田 和子			



### 3. 新役員紹介

農政課長 秋田 芳博

この度、あびこ型「地産地消」推進協議会の副会長に就任いたしました秋田です。4月の人事異動により農政課長となりました。協議会の皆様と我孫子市の地産地消活動に精一杯取り組みますのでよろしくお願いいたします。

私は、我孫子市布佐で生まれ育ち、畑や森林に囲まれて育ちました。これまで、市民部や教育委員会、建設部、都市部などの様々な部署を経験し、令和元年度より農政課に所属しています。

あびこ型「地産地消」と言っても実際どの様な取り組みをして、どの様な活動をしているのかは今後、齊藤会長や会員皆様の教えを乞いながら活動していきたいと考えておりますので、会員の皆様からの意見や問題点を解決しながら、安全安心な食を提供して行きたいと思っています。

結びに、会員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げまして、ご挨拶と致します。



### 4. 会計監事紹介

会計監事 JA ちば東葛 小林 明弘

JA ちば東葛は、千葉県北西部を管内とする農業協同組合です。平成 29 年 4 月に合併し、新たなスタートをきりました。東京近郊に位置する当 JA 管内は住宅地と農地の混在地域ですが、農業は非常に盛んな地域です。

東部地区経済センターは、手賀沼の南にあり我孫子市、柏市の一部を管轄しています。手賀沼と利根川の水系に恵まれた地形の中、稲作「コシヒカリ」の栽培も盛んで、自家販売や直売所による販売、また JA へ約 2 万俵の米が出荷され、その一部を地産地消の一環として我孫子市の学校給食への供給も行っています。

また、露地野菜や施設園芸も盛んで、ネギ、かぶ、枝豆、トマト、ほうれんそうなどが、直売による自家販売とあわせて市場出荷されています。

近年新型コロナウイルスの影響で米や農作物の需要も減り販売も大変困難な状況が続いておりますが、管内では消費地が近いだけに、より安全・安心な農業を行うことで産地化を図り、全農と協力し需要の拡大に努め販売活動や地域活性化に取り組んでいます。



千葉県柏市箕輪 14-1

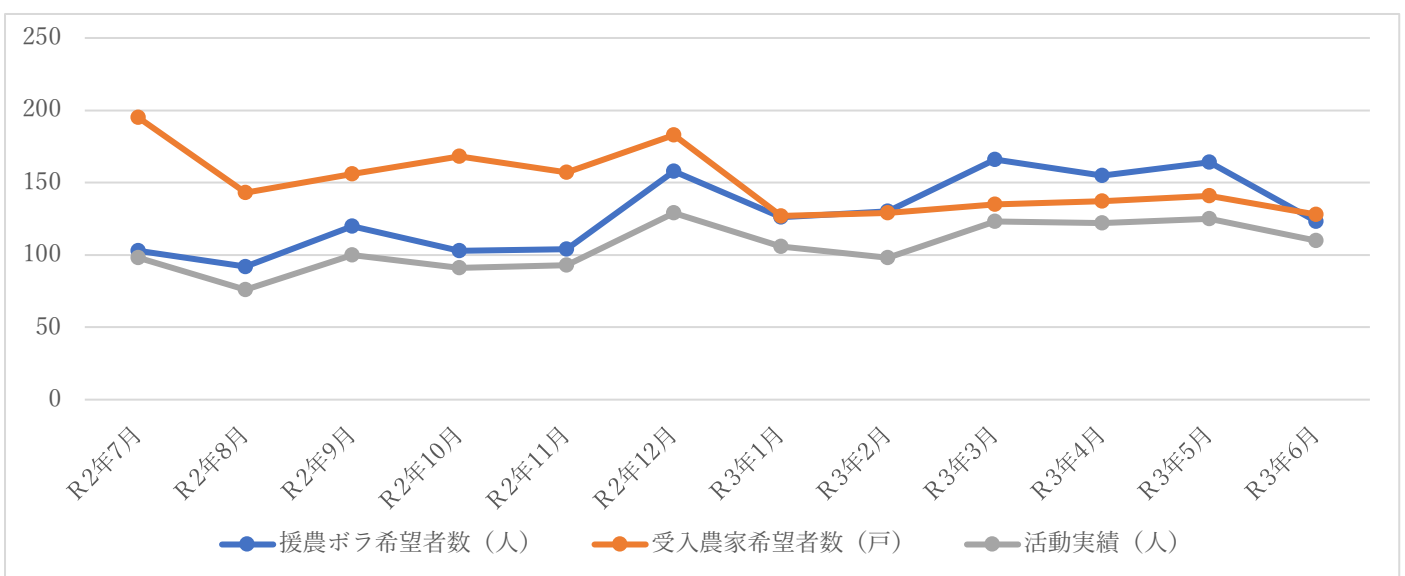
ちば東葛農業協同組合 東部地区経済センター

## 5. 援農ボランティアの活動報告

援農ボランティア部会 石田 善久

- (1) 2020年以降援農ボランティア希望者数は100回/月程度で推移していたが、昨年来の新型コロナウイルスの影響及び11月の養成講座(14人)の結果150回/月程度まで上昇している。  
1月以降は援農ボランティア希望者数が受け入れ希望農家数を上回っている状況である。
- (2) 一方、農家会員では高齢化により、受入希望数を減少させ、また、1か月先の予定策定が難しいことから臨時募集を希望する場合が増加している。
- (3) 援農ボランティア部会としては、臨時募集の会員農家を訪問し、極力ひと月単位の希望表の提出をお願いする予定。また、会員農家の高齢化は顕著で、活動存続には新規農家会員獲得に向けた取り組みを強化する必要があり、実行委員会で具体案を検討する。

種別	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2.10月	R2.11月	R2.12月	R3.1月	R3.2月	R3.3月	R3.4月	R3.5月	R3.6月
援農ボラ希望者数(人)	103	92	120	103	104	158	126	130	166	155	164	123
受入農家希望者数(戸)	195	143	156	168	157	183	127	129	135	137	141	128
活動実績(人)	98	76	100	91	93	129	106	98	123	122	125	110
援農ボラ希望達成率(%)	95	83	83	88	89	82	84	75	74	79	76	89.4
受入農家希望達成率(%)	50	53	64	54	59	84	84	75	91	89	89	85.9



## 6. 援農ボランティア活動に参加して

第17期養成講座 重原 真理子

我孫子の援農ボランティアを知ったのは、ずいぶん前のことです。テレビのニュースで、東京に通勤する女性が休日にトマト農家のお手伝いをしているところを取り上げていて、爽やかな笑顔がとても印象に残っていました。

また、我孫子市が地産地消に力を入れていることも、あびこんに野菜を買いに行くことで、知りました。食べるだけでなく、私も援農ボランティアをやってみたかったのですが、なかなか実現できませんでした。

昨年、仕事でイベント開催が自粛となり週末に余裕があったため、友人を誘って援農ボランティア養成講座に申し込みました。座学と実習を受け晴れてボランティアデビュー、日頃運動不足のため筋肉痛になりましたが、野菜が育つお手伝いをしたあとは清々しい気持ちになるご褒美が待っています。

ボランティアの日には、友人と一緒に農家の方に接し、野菜の緑や土の香りにパワーをもらって、元気ななれています。これからも続けていきたいと思っています。



※訂正文：会報55号での会社名、見出し番号の間違いを下記のとおり訂正致します。

関係者にはご迷惑をお掛け致しました。

・「3. 法人紹介 エヌケイサービス」見出し・1行目：

(誤) エムケイサービス⇒(正) エヌケイサービス

・見出し番号：

(誤)「5. 部会紹介」「7. 第45回消費生活展」⇒(正)「4. 部会紹介」「5. 第45回消費生活展」

発行：あびこ型「地産地消」推進協議会 会長 齊藤徳剛

住所：270-1146 我孫子市高野山新田193（「水の館」2F）

（業務日 月・火・木）9：00～17：00

Tel 04-7128-7770 Fax 04-7128-7771

E-mail [info@abiko-chisan.com](mailto:info@abiko-chisan.com) HP <http://abiko-chisan.com/>

（協議会ホームページではカラーでご覧いただけます）

